

事業所名

発達支援ルーム キャンパス

支援プログラム（児童発達支援・放課後等デイサービス）

作成日

7年

1月

4日

法人（事業所）理念		『お子さまの可能性を信じ、子どもたちの可能性を最大化します』 『保護者さまと共にお子さまの成長を考え、計画を立て、ご家庭と共に実行してまいります』	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの健康的な生活習慣の確立と、日常生活スキルの向上を目指して支援します。 運動や音楽を通じて、子どもたちの運動能力を高め、日常生活での動作がスムーズに行えるようになるよう支援します。 思考力・判断力の育成と行動調整、学習能力の向上と適切な行動の獲得のための支援を提供します。 言語理解・表現力の向上、他者との意思疎通能力の発達を目指して支援します。 対人関係スキルと社会ルールの習得、社会参加と自立生活の促進などを目指して支援します。 	
営業時間		(平日) 10時00分 ~ 18時00分 (土曜・学校休校日) 9時00分 ~ 17時00分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活スキルを身に付け、自立した生活を送る基礎を築けるよう家庭と連携して支援する。 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な技能を獲得できるように本人の発達に合わせた支援を行う。 様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでもらえるように室内のレイアウトや掲示物での可視化など空間の構造化を図る。 事業所内外での安全な過ごし方について、分かりやすく理解できるように支援の中で促していく。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持・強化を図る。 感覚を刺激する活動を通して、運動能力を高め、日常生活での動作がスムーズになるよう支援する。 感覚が過敏な子どもにも配慮した環境を作り、楽しみながら身体機能の向上ができるよう支援する。 着座して集中する時間とリラックスする時間を有効に使い、自身の心と身体をコントロールしながら活動が行えるよう支援する。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもを適切に評価、認知の特性を把握し情報を適切に処理できるような環境調整や支援者の関わり方の支援や調整を行う。 パズルや迷路などの思考力を養うゲームをしたり、ソーシャルストーリーを用いた行動学習を行っていく。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害への予防及び適切行動への対応支援を行います。 スケジュールや時間の視覚化により、空間・時間・数の概念など認知発達を促す環境設定を行います。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉だけでなく、様々な物や方法を用いてコミュニケーションに必要な基礎的な力を身に付けられるよう支援する。 子どもの発達に合わせて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。 自分の考えを発表する機会を作り、話す力や聞く力が身に付くよう支援します。 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わえるような支援を行う。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる支援者との関係を築き、身近な大人や他利用者に関心を持ち、模倣して遊んだり、自分から関わろうとする機会を大切に支援する。 自身の生活の中で不安なことや疑問などを支援者に気軽に話し、不安なく落ち着いた気持ちで自分らしく生活を送ることができるようサポートしてまいります。 グループ活動を通じた協調性の育成やソーシャルスキルトレーニングの実施、感情のコントロールの指導を行い他者の気持ちを考える訓練をしながら地域社会との交流活動をしてまいります。 活動を通じて集団で行動する機会を作り、役割分担を決めて支援するなど活動を通じてルールやマナーを身に付けられるように支援する。 	
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に学校やご家庭での様子を共有する時間を設け、日々の活動報告を合わせて行う。また必要に応じて電話での情報共有や面談を行い、情報認識をもちながら支援に取り組む工夫を行う。困りごと等が発生した際は、相談・及び面談の機会を設けます。 進学や進路などの情報の収集とそのフィードバックを行う。 年に1回程度の保護者会を設け、各家庭の課題や困りごとを話し合う機会を作り、保護者同士が交流できるようにする。 	移行支援 <ul style="list-style-type: none"> 本人の環境に合わせて、関係機関や事業所との情報共有や相談支援を行う。 本人や保護者の意向を確認し、連携することで見込まれる本人の成長や環境の変化に伴う影響などを一緒に考え具体的な関わり方について情報を共有するなど体制づくりの支援を行う。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域のネットワーク会議への出席など地域の事業所や社会資源との情報共有などを行う。 地域の学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整える。 地域の公共施設を利用し、地域資源を活用します。(図書館・体育館・児童館等) 	職員の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> 外部研修、OJT研修等を計画的に行う。 各委員会活動にて職員研修を取り入れ、職員の知識の向上に取り組む。 福利厚生を充実し、社内制度を整え各職員の専門性を高めていく。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に応じたイベントの開催(初詣・節分・ひな祭り・夏まつり・ハロウィン・クリスマス会等) クッキング、買い物体験、避難訓練等 お出かけイベント、工作イベント、音楽イベント等 	